

第11回佐野市民体育祭

8月30日、9月6・13日に市内で開催され、市内14支部の代表選手が球技部門・陸上部門で合計成績を競いました。

総合優勝は赤見支部、2位に植野支部、3位には犬伏支部と城北支部が入りました。



人権について考える ハートフルフェスタ

8月27日、市の文化会館で人権について考える「ハートフルフェスタ」が開催されました。

「みんなで築こう人権の世紀」をテーマに行われた今回のハートフルフェスタでは、人権啓発のポスター・書道の展示が行われたほか、それぞれの入賞者への表彰式が行われました。

また、北朝鮮による拉致被害者・蓮池薫さんの講演会が行われ、蓮池さんは会場を埋め尽くす満員の観衆を前に、拉致とはどんなものだったか、北朝鮮の実情を交えながら話したほか、演題のテーマ「夢と絆」について話し、まだ残る拉致問題の解決や拉致被害者の早期解放を訴えました。

第28回くずう原人まつり



8月22日・23日の両日、葛生の嘉多山公園で第28回目の開催となる「くずう原人まつり」が「くずうから東北へ！夢と元気を！」をテーマ行われました。

両日、原人ステージ、フリーステージでは各種団体によるダンスやライブ、パフォーマンスが行われたほか、23日には化石発掘体験や、弓矢と丸太切り、火おこしのタイムトライアル「原人チャレンジパーク」が行われました。

両日を通じ天候にも恵まれ、大きな盛り上がりを見せました。



身近に落ちてい
るごみを拾って
みましょう

ふと道端をみると、やたらとゴミが落ちていま
す。ペットボトルや空き缶、弁当パック、さらに
台所のゴミ、紙おむつなどです。

ところがこのごみを拾ってくれる人もいて、道
路がきれいになっていたり、また朝などにごみを
拾う方を見かけることがあります。環境衛生委員
会や地域の行事とは別に、全くのボランティアで
活動されている人たちもいるとのこと。拾ってい
た方にお聞きしたところ偶数月末の日曜の朝、ご
みを拾っているとか。私も北関東自動車道の佐野
田沼インター付近から吉水榊神社あたりまでぶら
ぶらとゴミ拾いに参加してみました。

一人でやるより楽しいものです。皆さんも身近
なごみを拾ってみませんか、できる範囲ですが。
(市民記者 福田満)

飛駒地区 3 団体清掃事業

8月30日に、
飛駒3町会3団
体で毎年恒例と
なっている清掃
活動が行われま
した。



この活動は、20年以上にもわたり継続的に
行われているもので、毎年大量の不法投棄物が回収
されます。

今年も、地域住民のほか環境衛生委員協議会不
法投棄対策部会から多数のボランティアの参加が
あり、総勢50人で回収分別作業が行われました。

今年は、小雨の降る中での作業でしたが、林道
脇の斜面に投棄されたごみを引き上げるため、バ
ケツリレーの要領で回収するなど、参加者が協力
しながら回収作業が行われました。



懐かしの写真展

市政10年を機にボランティア団体「心友会」
による懐かしの写真展が、吉澤記念美術館内の地
域交流センターで、8月と9月の延べ14日間に
わたって開かれました。

昭和56年から平成6年頃までの葛生地区の懐
かしい写真や当時の小中学生の作品が展示され、
約500人の方々が訪れました。

展示された品々は桐の茶箱に保存されており、
習字や絵画の色はあせることなく、作成当時の色
そのままに残されていました。

館内では自分の作品を見つけたり、知人の若かり
し頃の写真を見つけ、懐かしさに声をはずませ
る姿も見かけられました。写真や作品は希望があ
ればお渡しすることになっており、開催後に約
30人の方々の手元に渡っていきました。

(市民記者 山崎ちか子)

さのまるが始球式

9月6日、プ
ロ野球・ヤクル
トスワローズ対
広島東洋カーブ
の試合で、さの
まるが始球式を
行いました。



始球式は、栃木県が4日から6日のヤクルト対
広島の3連戦に合わせ行ったPRイベント「うん
まい栃木県シリーズ」として行われたもので、さ
のまるはヤクルトのつば九郎にエスコートされな
がらマウンドに登ると、広島の手を相手に投球
しました。

「うんまい栃木県シリーズ」では栃木県の物産
などが多く出品される中、佐野市からは「いもフ
ライ」が出品。野球を観戦に来た方々に、栃木県
や佐野市をPRしました。

